

一般質問 (3)



明保中学校で行われたとんど焼き

坂口市政の4年間は「言葉」だけで進展なし 論より現実を!!

浅野 高司(自民・無)

市長は、マニフェストで「市長公用車の廃止」を掲げているが、黒塗りの公用車を「共用車」と称して利用しており、約束を果たしたと言えるのか。

「市長等の専用車」は廃止した。

保谷駅南口再開発事業の特定建築者が財務状況の悪化を理由に採用予定者全員の内定を取り消したと報道されたが、再開発事業に影響はないか。

特定建築者から、コスト削減により財務体質の改善等を図っており、再開発事業は既定方針どおり進める」との報告があった。

市長は計画達成の意思はあるのか 「はなバス」の利便性の向上を!!

稲垣 裕二(自民・無)

戦略プランの目標達成は

目標値を下方修正した経常収支比率87%及び実質経常収支比率97%は、21年度当初予算ベースで達成可能か。

目標である87%に近づけるよう取り組む。

車座集会は事実上中止状態! 報酬をテーマにやれたはずだった

保谷 七緒美(無所属)

車座集会はマニフェストどおり19回実施されていない。報酬問題の影響だと思いが、事実上中止したと言つべき。

毎年方法を見直ししている。今年度は地域懇談会型で7回、イベント型で1回実施した。

ただの懇談会とマニフェストで掲げる車座集会は全く異なる。問題になった特別職報酬値上げをテーマに市民の声を聞けたはず。

インターネットのストリートビューは個人情報

市長選挙2期目立候補に当たっての決意を問う

相馬 和弘(民主・社)

坂口市長は2期目立候補のプレス発表をした。

これまでの1期4年間の実績と到達点を踏まえ、2期目を指すに当たり決意と抱負、取り組む重点政策と課題について問う。

合併して8年がたち、合併の総仕上げのときを迎える。後期基本計画の策定を通じ、6つの柱を軸に持続可能な市政を実現するた

は事実上の減額となり、運営自体が立ち行かなくなる。市としての今後の対応は。

指摘のとおり、利用実績が少なれば運営が成り立たなくなると予想する。

21年度予算に新たに運営費の補助を計上したい。東伏見駅周辺の公共施設

空き店舗の活用を含めて、地域の総合発信基地として、自由な広い視野を

停止されている。正式な裁判手続きをして争うべきではないか。

はなバスは、より効果的になるよう今後とも検討されたい。

中学校給食の実施方法等について



いこいの森公園(緑町3丁目)

後期計画を裏づける財政フレームはどうか。

後年度負担も考慮しながら主要事業について精査し、21年度予算との整合性を図りながら、今後5年間の財政フレームを作成していく。

市民の協力を得てその他プラの別資源ごみがドラックからAランクになったが、リサイクル協会の品質調査は適切なのか。

品質調査の方法自体は適正に行われている。

東伏見駅周辺への公共施設

空き店舗の活用を含めて、地域の総合発信基地として、自由な広い視野を

持った公共施設の検討を。重要な課題である。提案いただいた空き店舗活用は非常に重要な視点であり、検討していく。



東伏見駅周辺(富士町4丁目)

教育現場の課題 防災への様々な視点

望月 伸光(民主・社)

現在、教育の現場における子供たちの問題行動、教員の休職者の増加が全国的な話題となっているが、西東京市での現状はどうか。

発生件数の推移、子供たちの問題行動と休職者の増加の因果関係についても伺う。

暴力行為の発生件数は、小学校で年1、2件、中学校でも減少傾向で推移している。教員の休職者のうち62%が精神疾患だが、人間関係、仕事の質などさまざまな要因が考えられる。

因果関係はデータによる正確な検証がされていない。

教育現場で起こるさまざまな問題は、学校以前に家庭での教育に起因する

坂口市長再選によって2期目の任期で実現を望む

二木 孝之(民主・社)

東伏見駅周辺への公共施設の設置について展望を問う。

空き店舗活用や大学との連携など、地域の意見を踏まえつつ住民サービスの拡充を図ってまいりたい。

認証保育所等における保護者への補助金は月額5千700円と定額だが、世帯所得別に改正しないか。

この制度が認可保育所利用者との負担格差を軽減する意味において、一定の役割を果たしている。都内26市の半数程度ではこのような保護者に対する助成制度はない。今後調査研究してまいりたい。

安心・安全、住んでよかったです、住み続けたいままの観点から質問する。

西武鉄道で導入している女性専用車両は利用者の要望にこたえ、2005年5月から痴漢を防止するため、朝のラッシュ時間帯に導入された。女性専用車両を増やしてもらいたいとの声を聞くが、西武鉄道の調査から3年が経過している。行政としてその後の調査など申し入れを行わないか。

西武鉄道とは駅のバリアフリー化をはじめ、さまざまな分野で連携、協力を進める関係にあるので、今後調整等の機会を通じて市民要望などを必要に応じてお伝えしていきたい。